

中原第4号墳出土品

企画展・記念シンポジウムを開催します

およそ1400年前に伝法地区に築かれ、平成4年に発見・発掘調査された古墳「中原第4号墳」から出土した副葬品は、その種類や量の豊富さと重要性から、ことし2月21日、市指定文化財に指定されました。

中原第4号墳とその出土品を通して、古墳に葬られた人や当時の社会について、市民の皆さんに知っていただく機会として、企画展とシンポジウムを開催します。

中原第4号墳とは

石室構造や副葬品から、6世紀後期ごろにつくられた古墳と考えられています。

副葬品は武器や装身具などさまざまですが、特に東海地方で唯一出土した鉄鉗や10種類38点以上を数える生産用具から、被葬者は倭王権との結びつきを背景に、鉄器や馬、食料生産などにもかかわっていたと想定されています。



▲中原第4号墳があった場所



▲出土品

企画展「産業の種時く人―伝法中原4号墳と古代のエンジニアたち」

とき／12月16日～平成30年3月4日

※月曜日（祝休日は除く）、年末年始は休館。

ところ／富士山かぐや姫ミュージアム

内容／出土品の展示や、同時代の県中東部地域の古墳などの紹介

観覧料／無料

記念シンポジウム

「中原第4号墳の被葬者に迫る」

とき／平成30年1月21日（日）

10時～16時30分

ところ／消防防災庁舎7階大会議室

内容／菱田哲郎さん（京都府立大学教授）による記念講演ほか

定員／150人（先着順）

参加費／無料（当日直接会場へ）

その他関連イベントを多数開催します。詳しくは、電話で富士山かぐや姫ミュージアムへ。

問い合わせ／富士山かぐや姫ミュージアム
文化振興課 ☎(55)2875
☎(53)0789
☎(21)3380
☎(21)3398

セカンドライフの顔

第22回

問い合わせ
市民協働課 ☎55-2701

「セカンドライフ」は主に、定年退職後や子育て後など第2の人生を意味します。このコーナーでは、セカンドライフを楽しんでいる還暦世代の人を紹介いたします。

今回紹介するのは、石田奈緒美さん（檜新田）。親の介護中に紙バンドと出会い、さまざまな作品をつくり楽しんでいます。

紙バンドを通して人の輪を広げたい

2年ほど前、デイサービスに通う母から紙バンドでつくった小物入れをもらいました。うれしそうに話す母を見て、一緒につくってみました。材料費も余りかからず、簡単にできたので、今ではすっかり紙バンドに夢中になっています。

10年以上親の介護をしていると、ストレスがたまってしまうこともあります。30分だけでも紙バンドを制作すると、気分が晴れ、気持ちに余裕ができます。つくったものにはお菓子を入れたり、お返しに友人にプレゼントしたりしています。友人に喜んでもらえるのが何よりうれしいですね。

紙バンドは、手づくりならのでき上がったときのうれしさや、人にあげたときの喜びがあります。これからも紙バンドを通して人の輪を広げたいです。



母親と紙バンドを楽しむ石田さん（左）

セカンドライフについて詳しくはセカンドライフ相談室へ
事務局／（一社）まちの遊民社 ☎(51)1112